

刈り倒し(枯死)：耐病総太り

対照区



ベッチ区

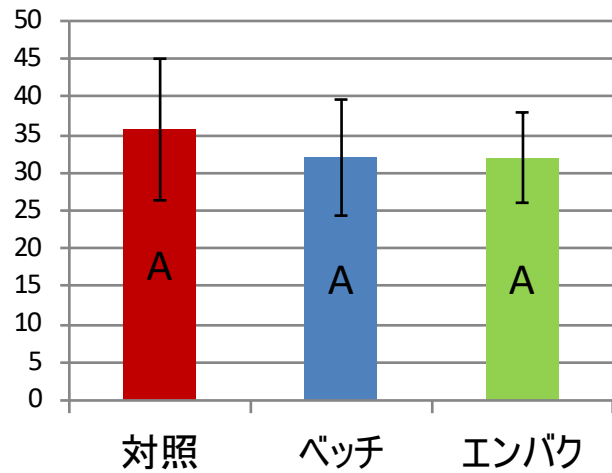


エンバク区

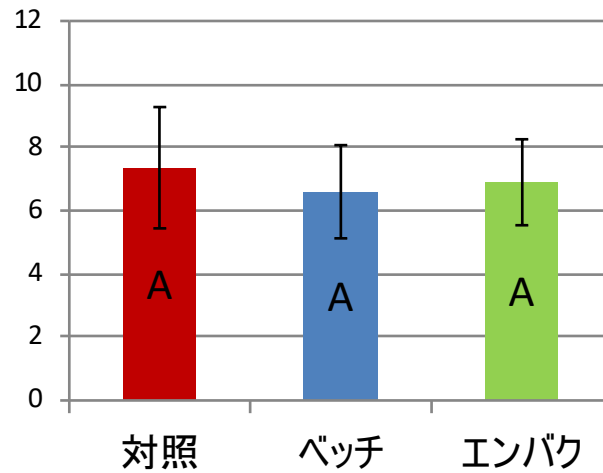


刈り倒し(枯死)：耐病総太り

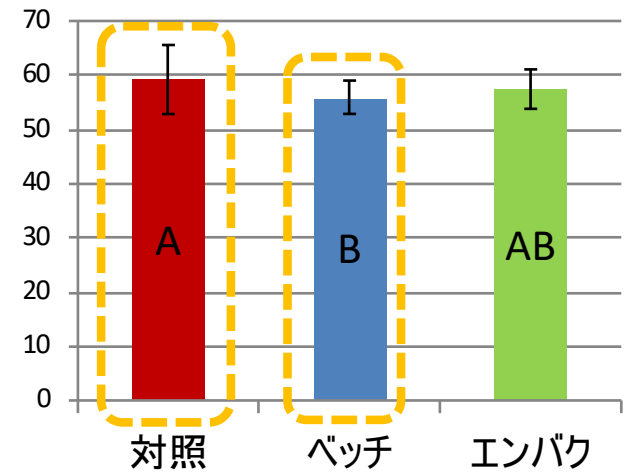
茎根長(cm)



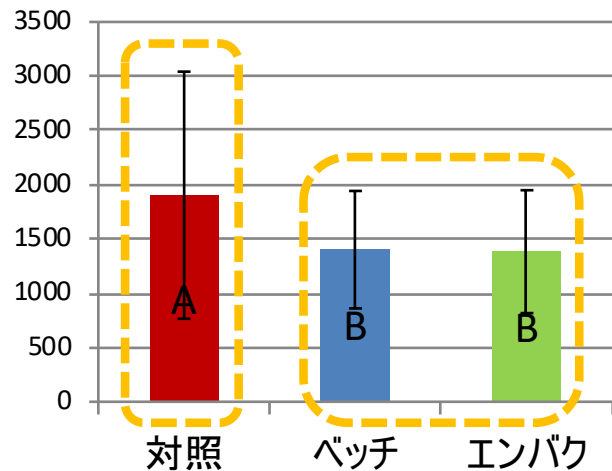
根径(cm)



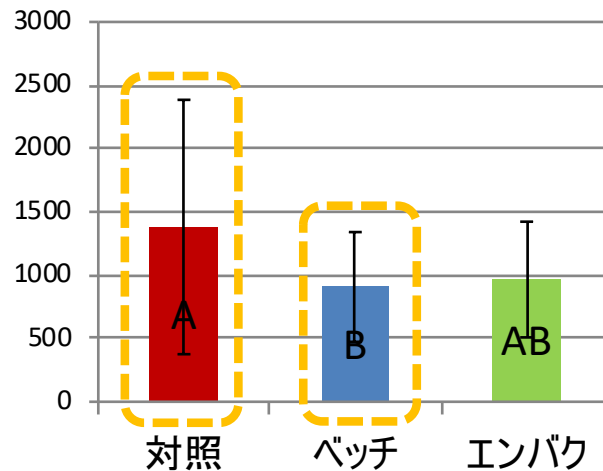
葉長(cm)



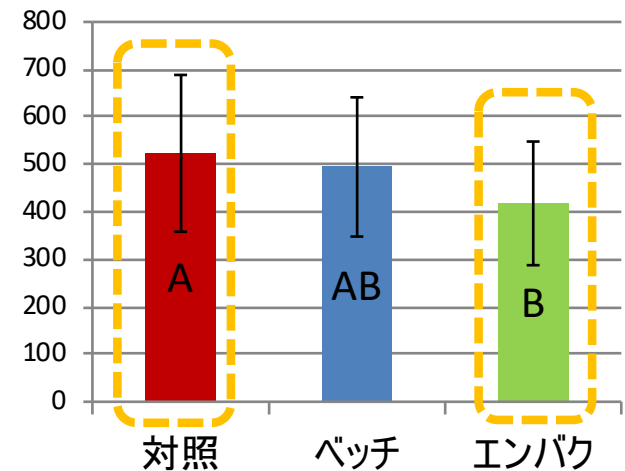
総重量(g/本)



茎根重(g/本)

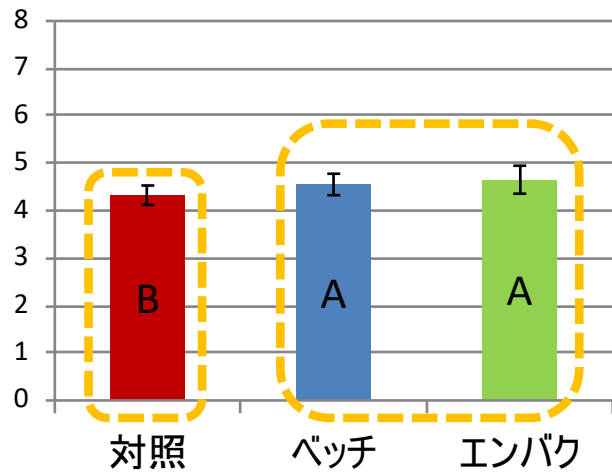


葉重(g/本)

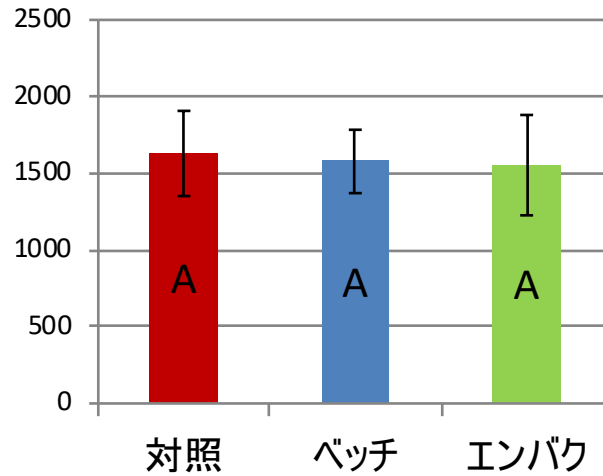


刈り倒し(枯死)：耐病総太り

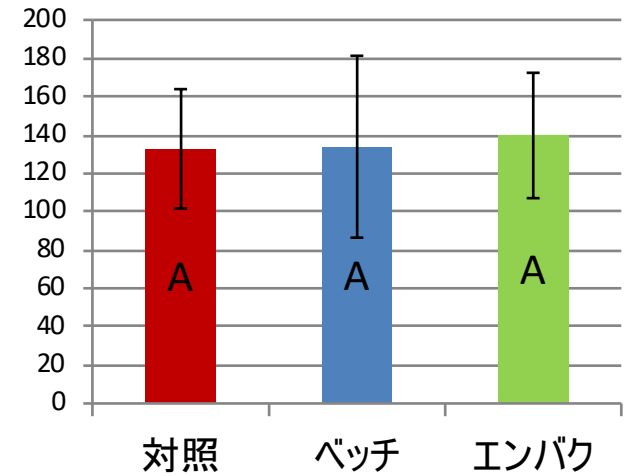
糖(Brix %)



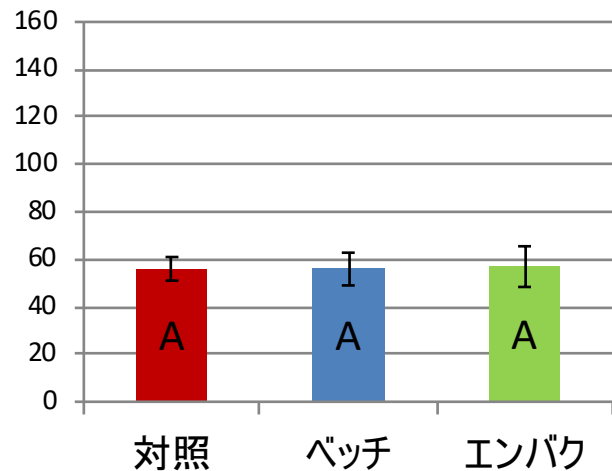
K+(ppm)



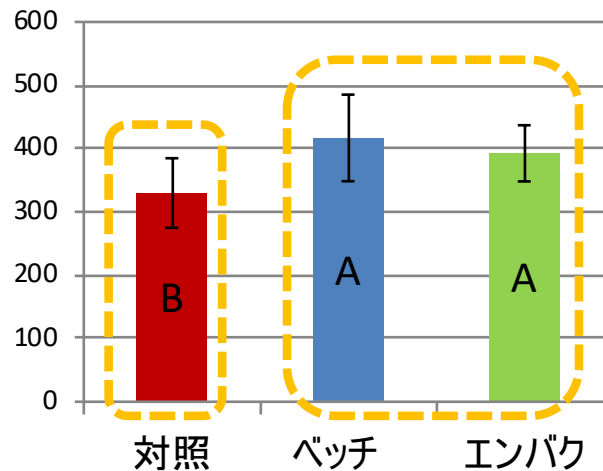
Ca2+(ppm)



ビタミンC(ppm)



ポリフェノール(ppm)



すき込み：緑輝

対照区



ベッチ区

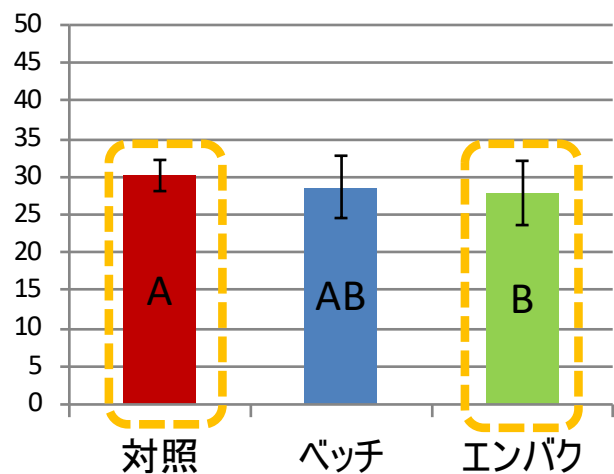


エンバク区

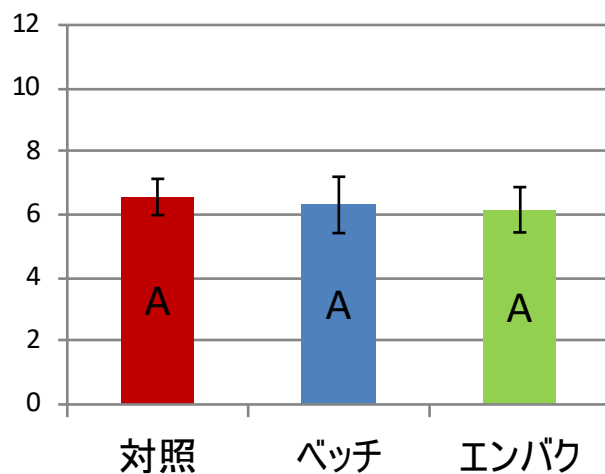


すき込み：緑輝

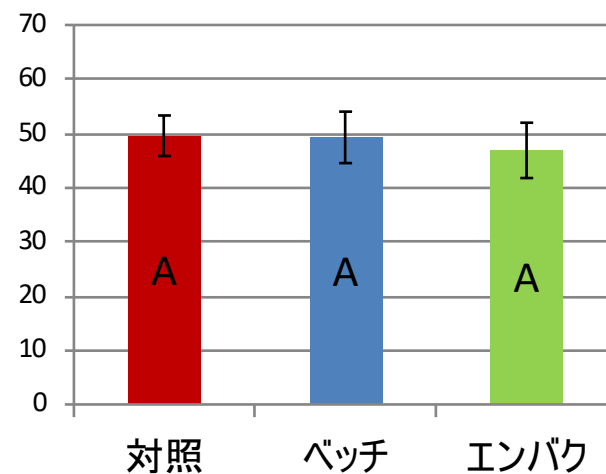
茎根長(cm)



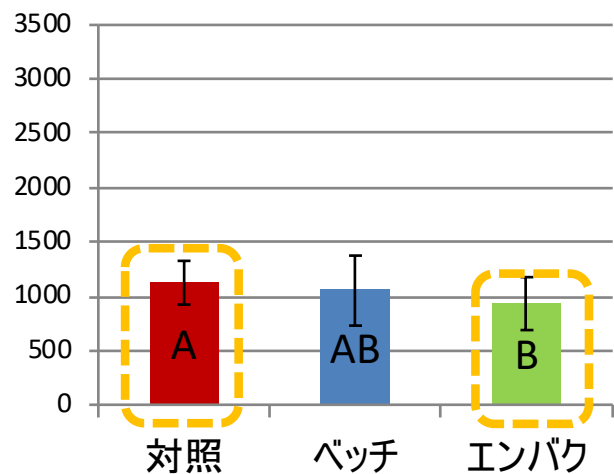
根径(cm)



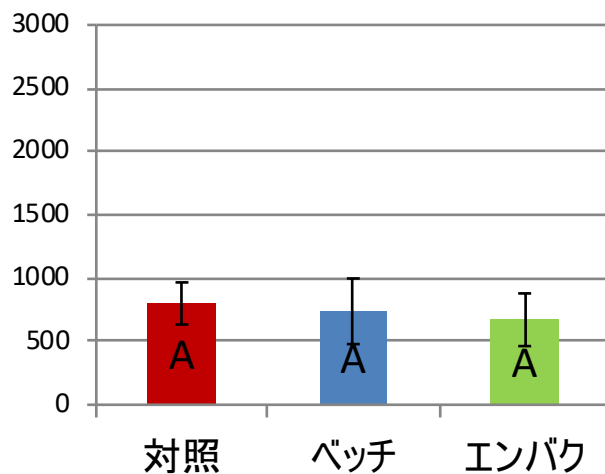
葉長(cm)



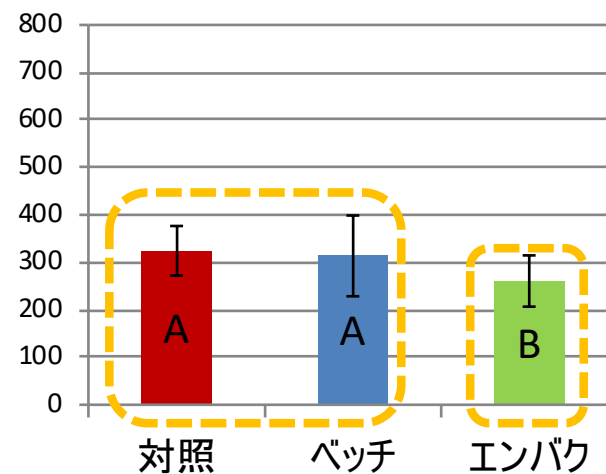
総重量(g/本)



茎根重(g/本)

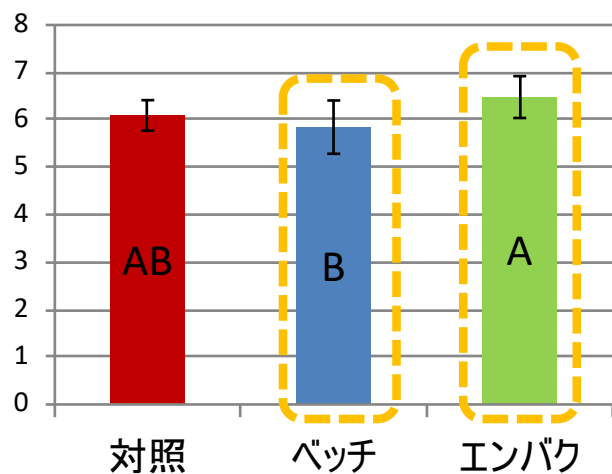


葉重(g/本)

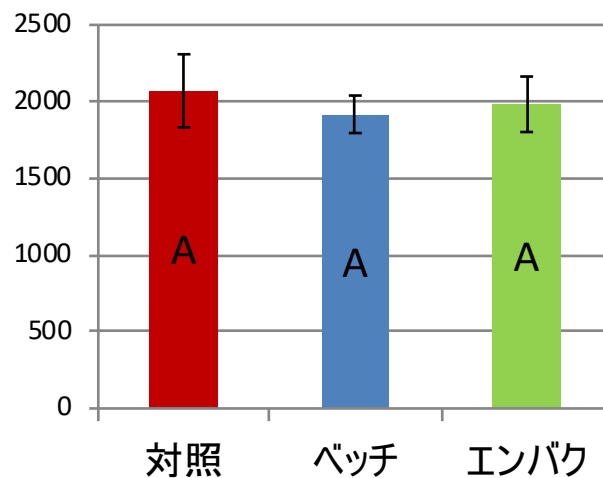


すき込み：緑輝

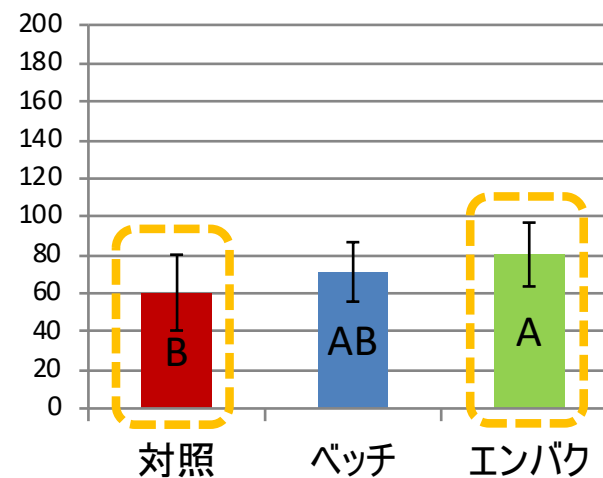
糖(Brix %)



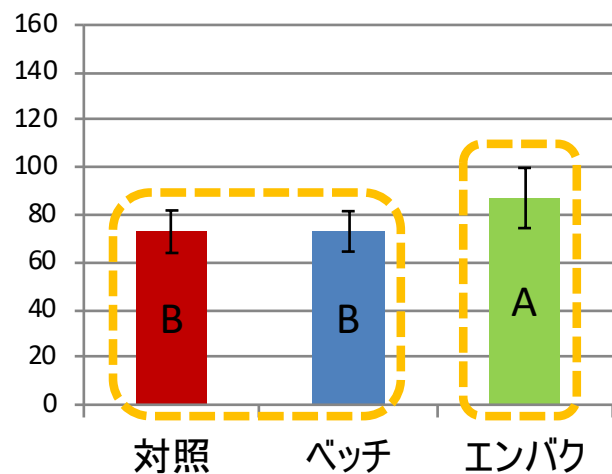
K+(ppm)



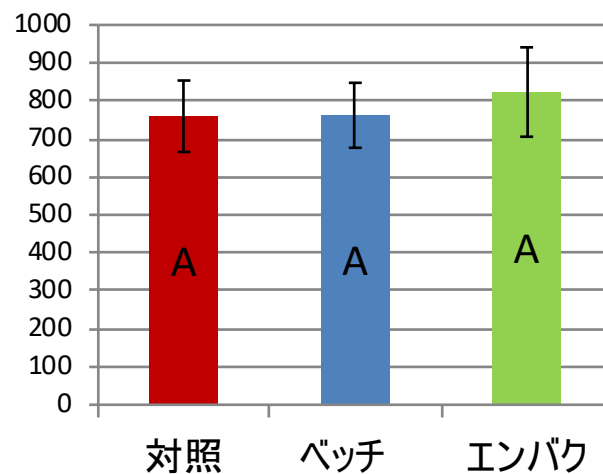
Ca2+(ppm)



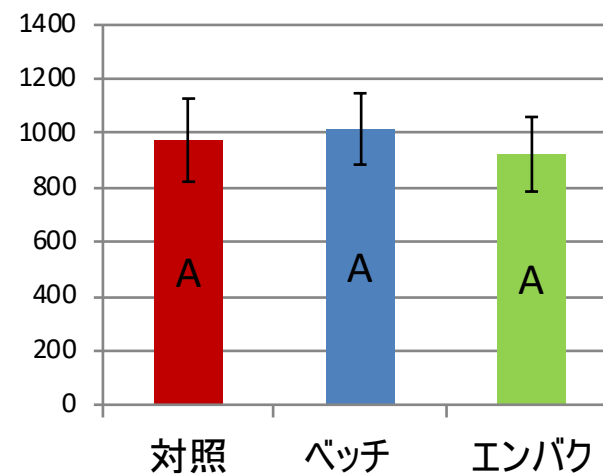
ビタミンC(ppm)



ポリフェノール(ppm)



硝酸態窒素(ppm)



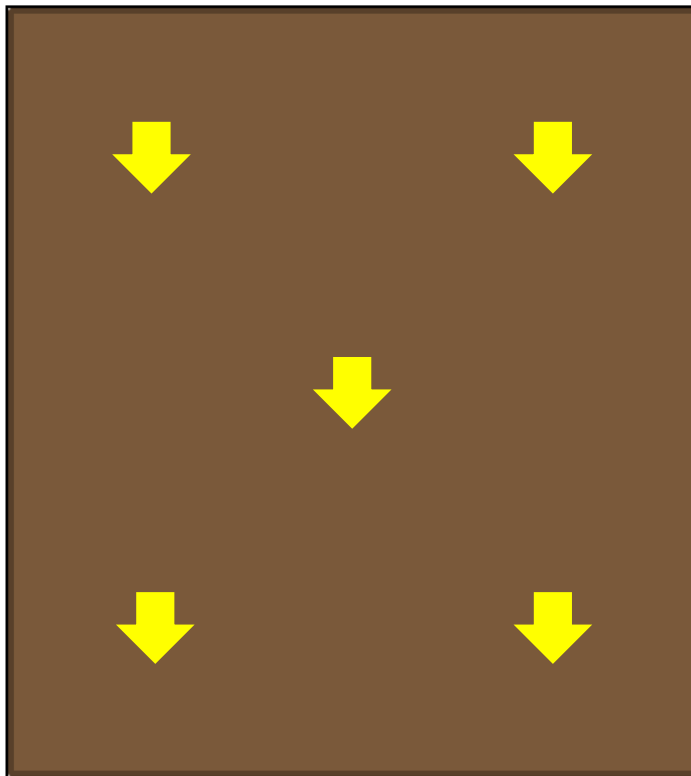
圃場作土層における 土壌化学性の変化



サンプル土壌の採取

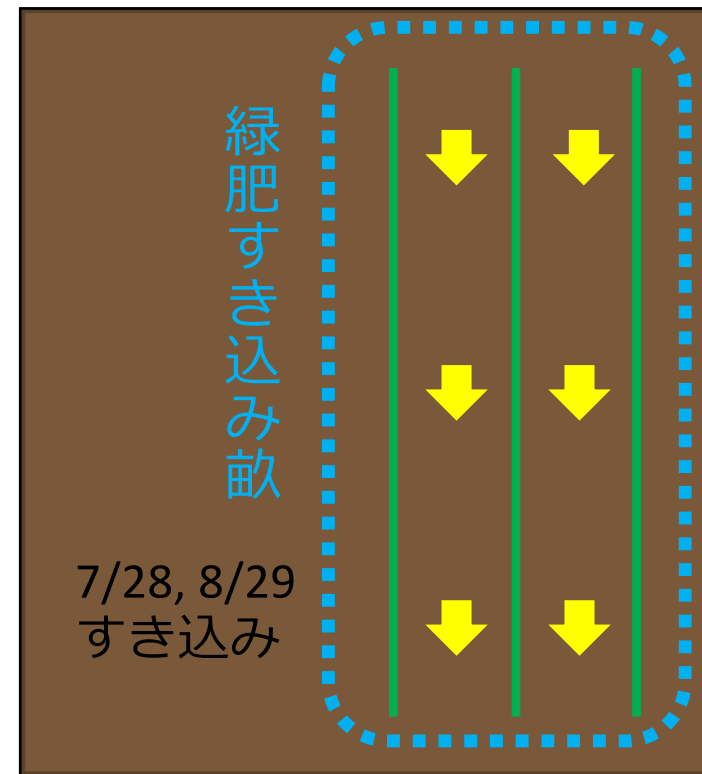
《栽培前》 H27,5/8

(施肥・播種前)

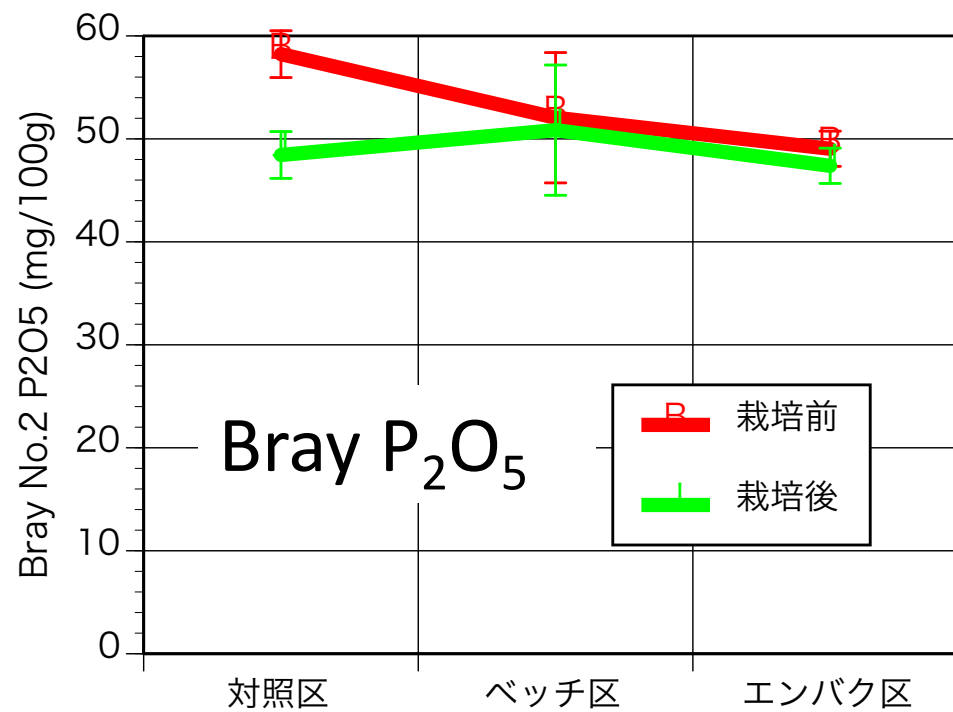
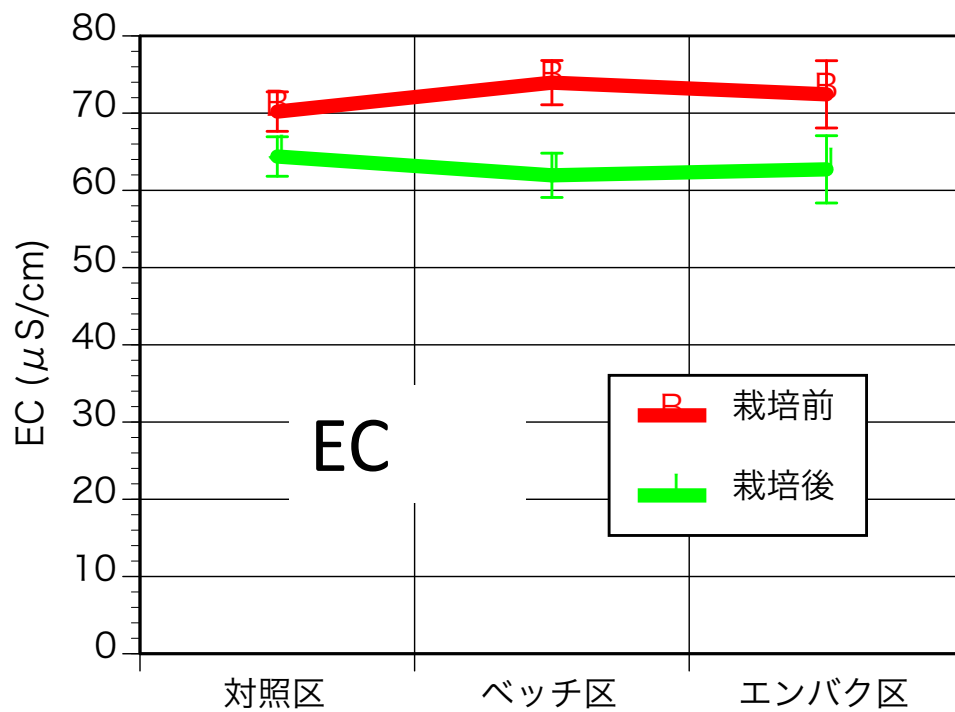
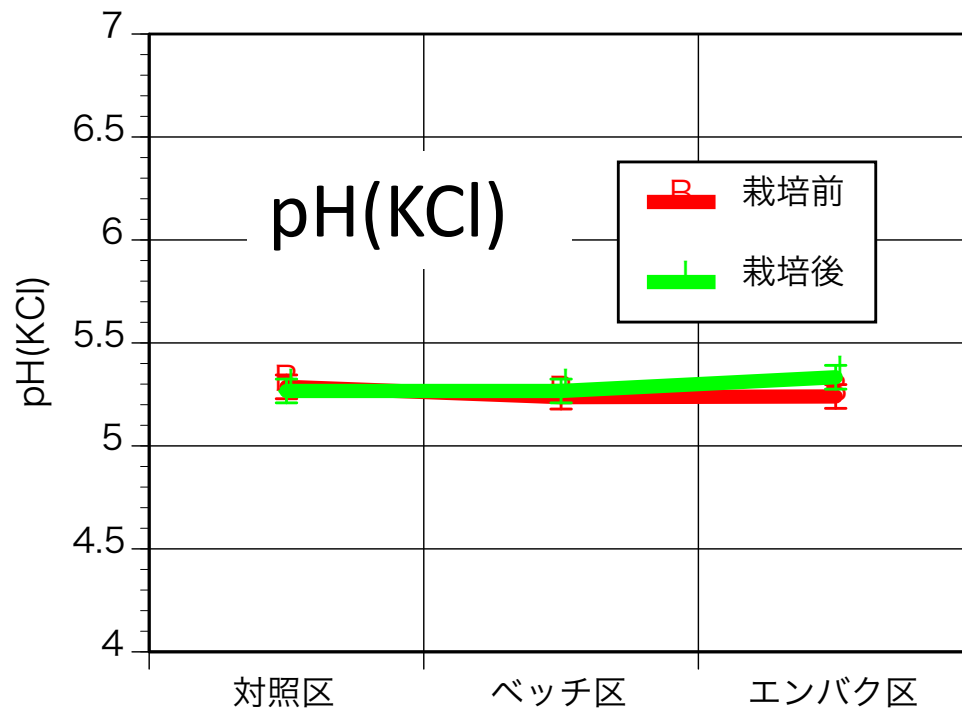
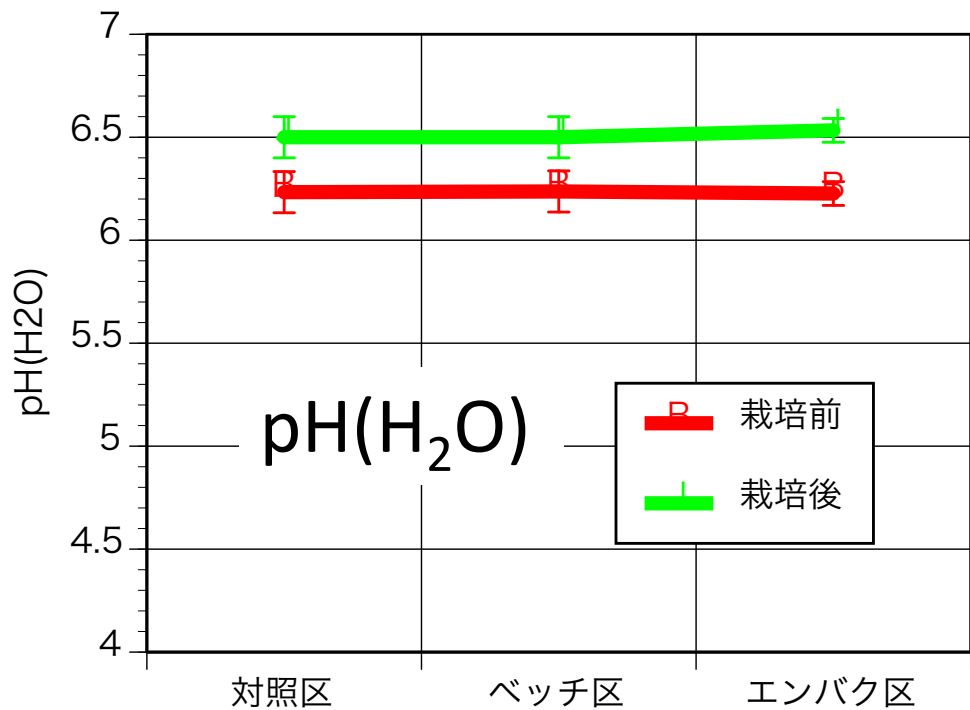


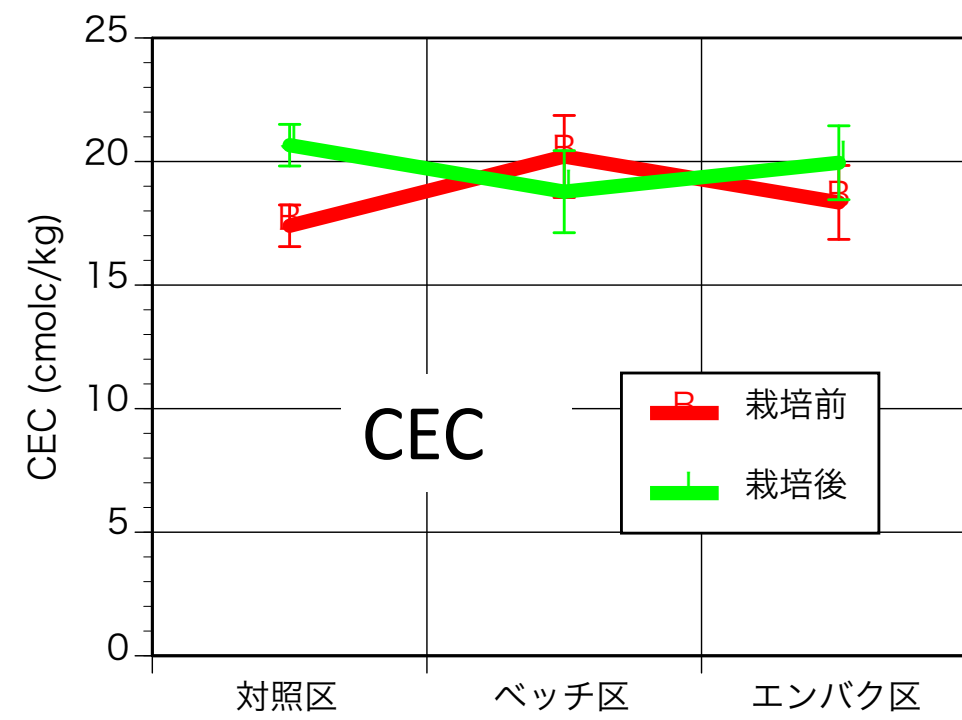
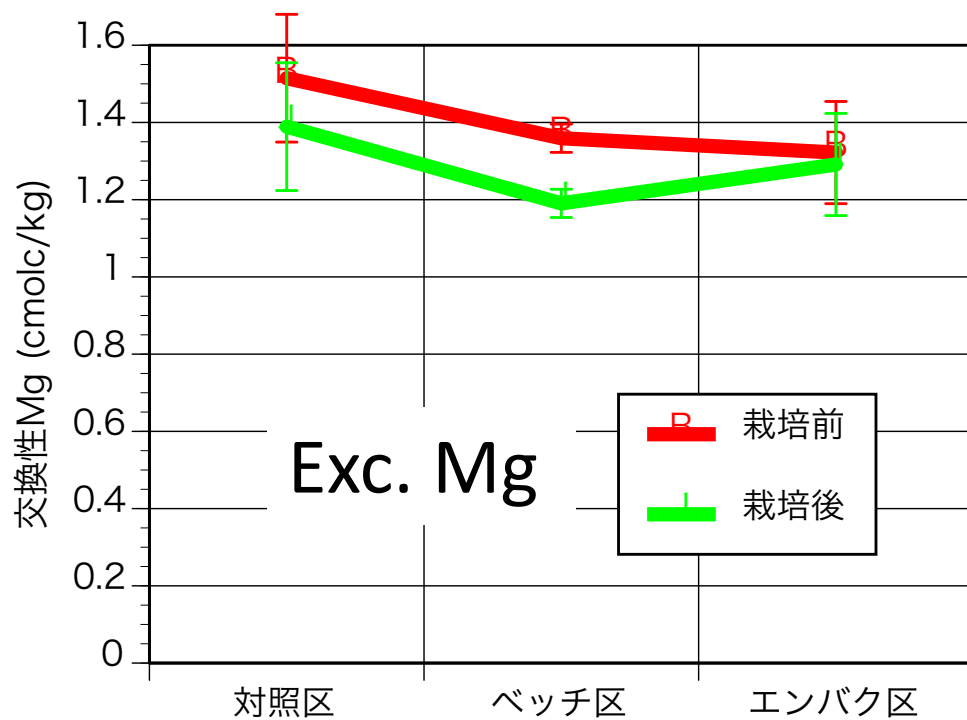
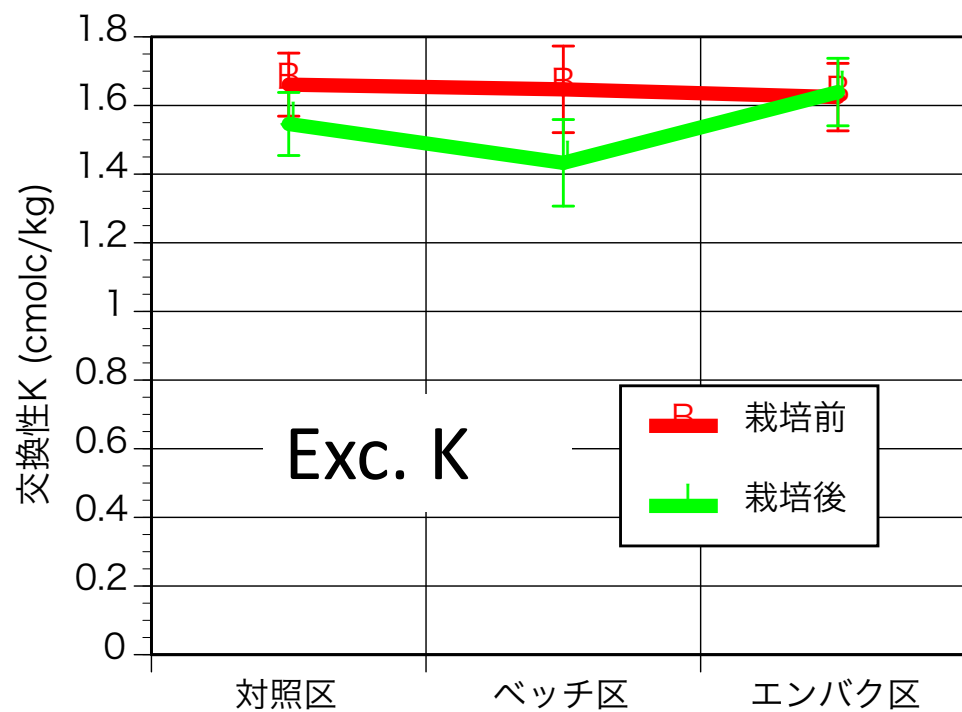
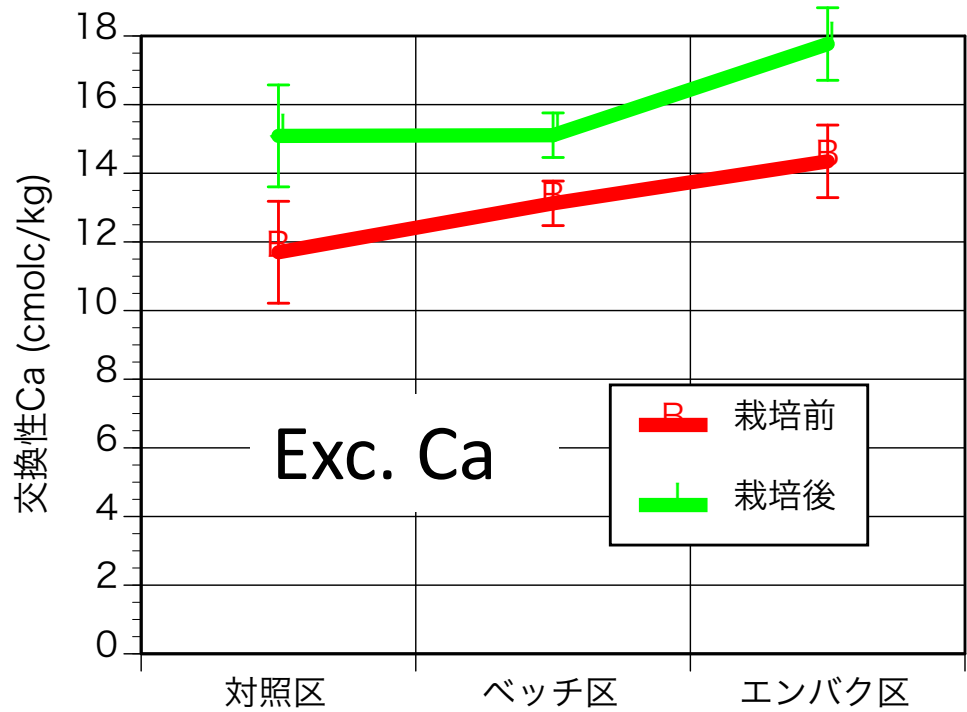
《緑輝栽培後》 H27,11/2

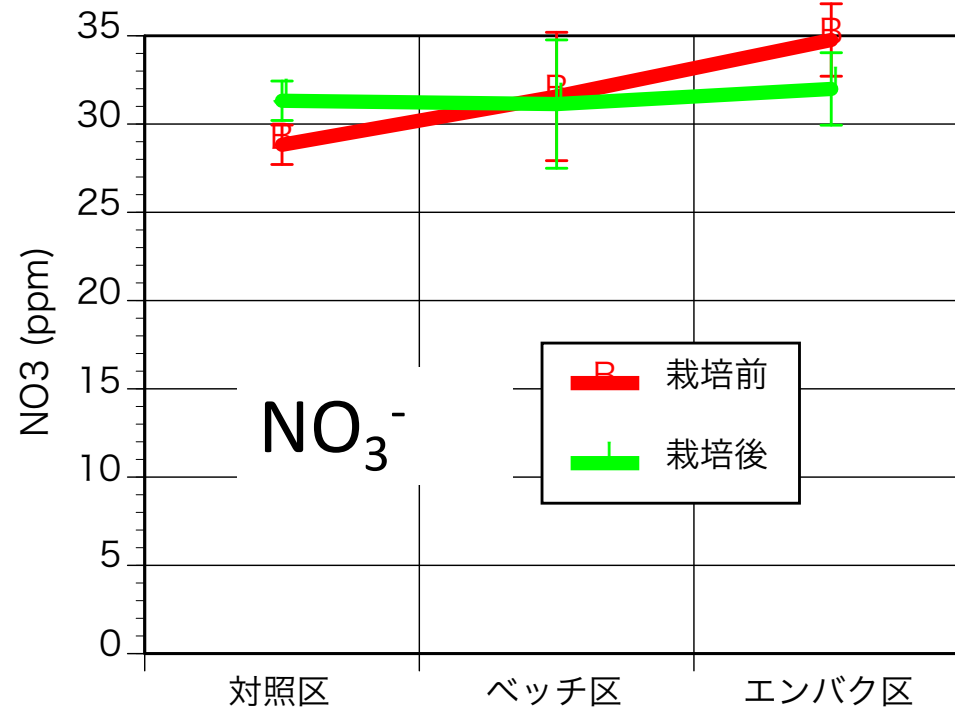
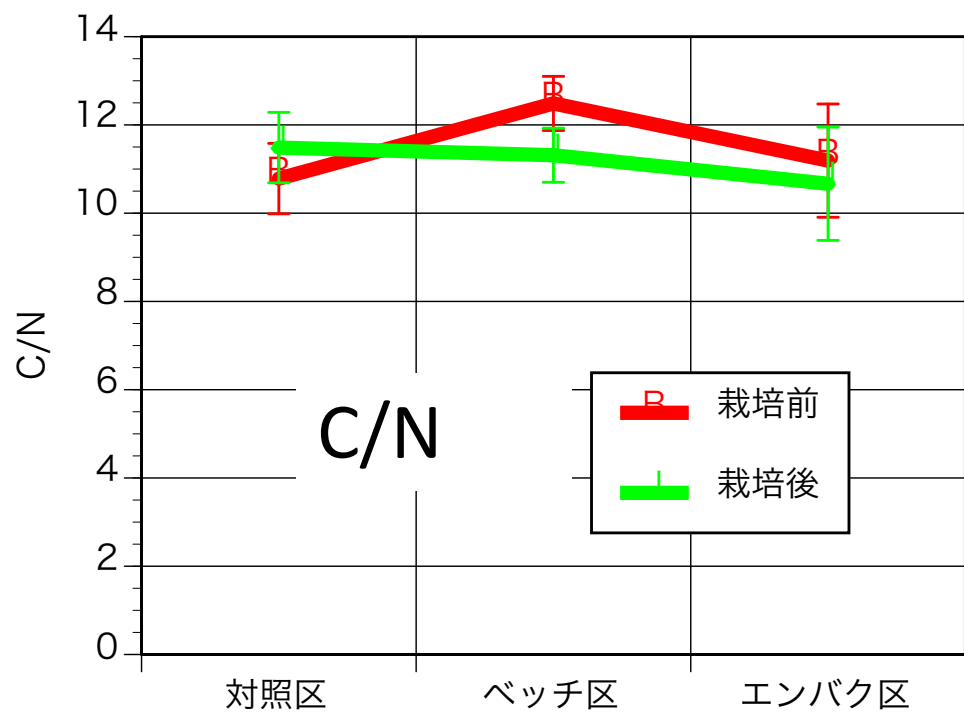
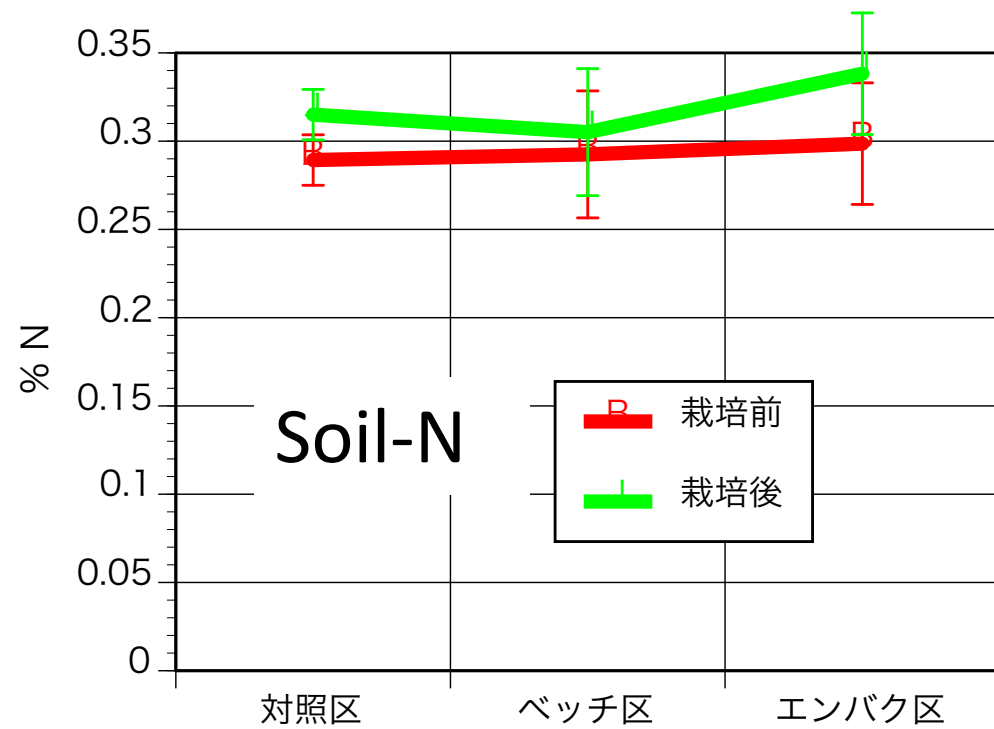
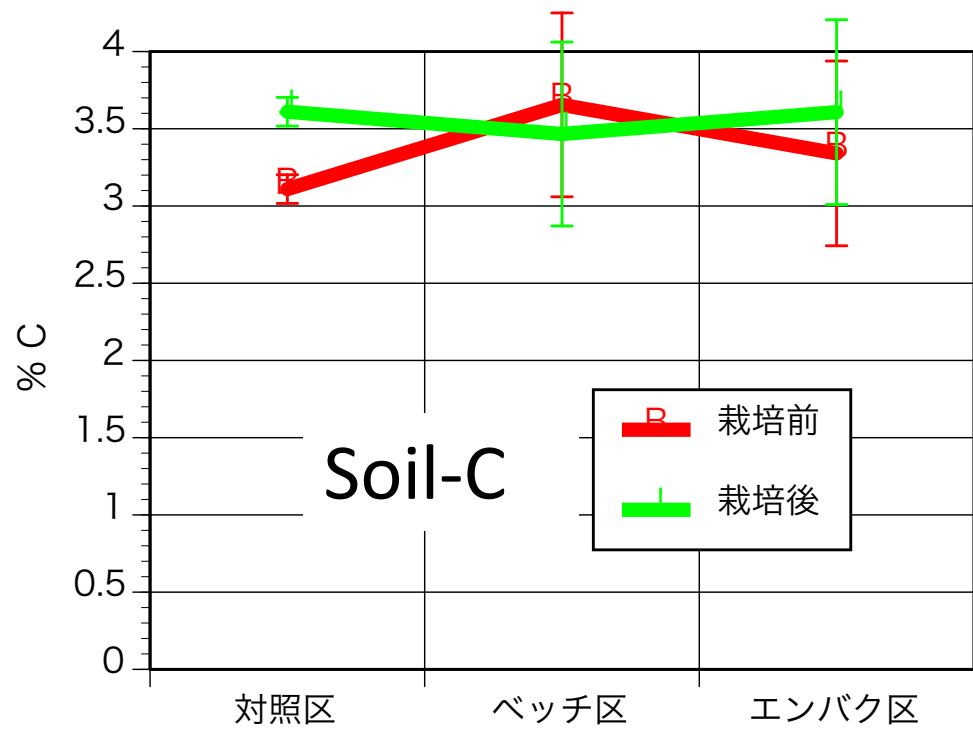
施肥7/26、播種8/14、収穫10/27



地表から20cmまでの土壌をサンプルとして採取後、恒温機(約50°C)で一週間乾燥









まとめ

ダイコンへの効果

《ヘアリーベッチ》

リビングマルチ

ダイコンの小型化に伴い
全糖・ビタミンC増大
(エンバク \geq ベッチ)

枯死

ポリフェノール増大
雑草抑制・水分保持
ばらつきが対照区より小さかった

すき込み

特筆事項なし

《エンバク》

リビングマルチ

ダイコンの小型化に伴い
全糖・ビタミンC増大
ポリフェノール増大

刈り倒し

ポリフェノール増大
(ベッチ \geq エンバク)
雑草抑制・水分保持
ばらつきが対照区より小さかった

すき込み

Caが増大

ダイコンの軟腐病



軟腐病発生数(各区30株中)

つや風

対照区

0 / 30株

ベツチ区

6 / 30株

エンバク区

0株 / 30株

ポリフェノール増大

耐病総太り

対照区

3 / 30株

ベツチ区

0 / 30株

エンバク区

2 / 30株

ポリフェノール増大

緑輝

全区0 / 90株

品種自体のポリフェノール多

ポリフェノール増大

まとめ

大根栽培における緑肥の効果

リビングマルチの場合

デメリット	大根の小型化。(エンバク区) 軟腐病にかかりやすい。(ベッチ区)
メリット	全糖・ビタミンC・ポリフェノール含量の増大。(エンバク区>ベッチ区)

刈り倒しの場合

デメリット	大根がやや小型化。(エンバク区・ベッチ区)
メリット	干ばつの影響をやわらげ生育むらが少ない。(エンバク区・ベッチ区) 全糖・ポリフェノール含量の増大。(エンバク区・ベッチ区)

すき込みの場合

デメリット	大根がやや小型化。(エンバク区)
メリット	全糖・水溶性Ca・ビタミンCの増大。(エンバク区) ポリフェノールはすべての区で高かった。(大根品種の影響)

土壌理化学性への影響

1年間のみので試験だったので、著しい効果は認められなかった。